

令和7(2025)年度 とちぎネットアンケート結果

第10回 「ケアラーについて」

1 調査目的

ケアラーに関する県民の意識を把握し、「栃木県ケアラー支援推進計画」に基づいた今後の施策の参考とする。
※栃木県HPケアラー支援に関する県の取組について https://www.pref.tochigi.lg.jp/e01/carershien_tochigiken.html
(担当課: 保健福祉課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

863名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和8(2026)年1月6日～1月19日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。MicrosoftFormsIにより回答

3 回答者属性

回答数 462名 (回答率53.5%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	191	41.3 %
女性	267	57.8 %
未回答	4	0.9 %
計	462	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	0	0.0 %
20代	9	1.9 %
30代	30	6.5 %
40代	112	24.2 %
50代	129	27.9 %
60代	114	24.7 %
70代以上	68	14.7 %
計	462	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	231	50.0 %
県南	136	29.4 %
県北	95	20.6 %
計	462	

(注)

- (1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- (2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。
- (3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

4 調査結果

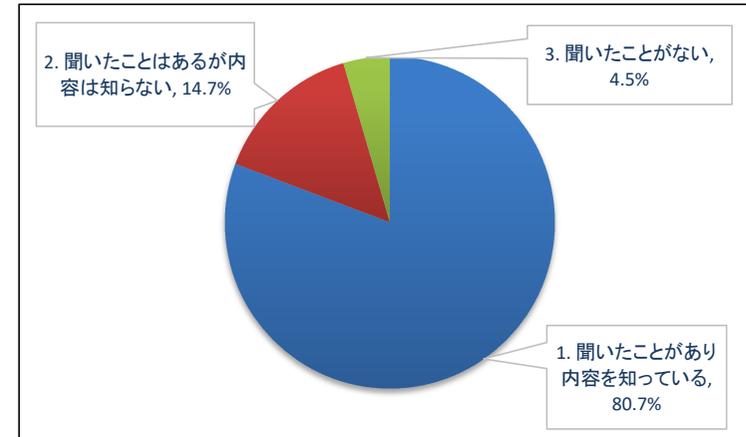
問1 「ケアラー」(※)という言葉を知っていますか。

※ケアラーとは、家族など身近な人に無償で介護や看護などのお世話をしている人を指します。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 聞いたことがあります内容を知っている	80.7%	373
2 聞いたことはあるが内容は知らない	14.7%	68
3 聞いたことがない	4.5%	21

(n = 462)

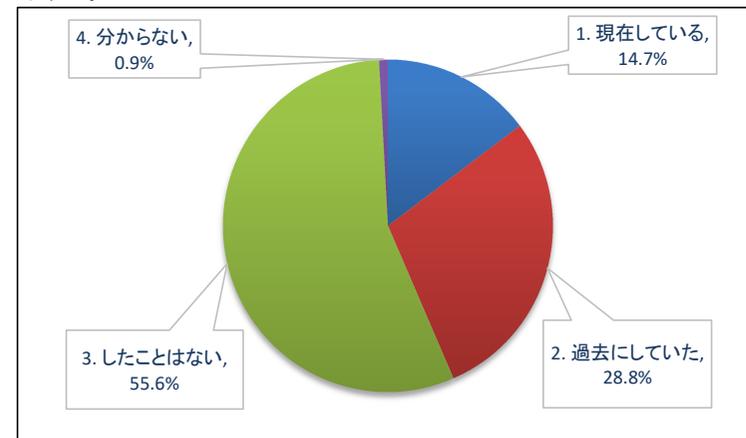


問2 あなたは、現在、家族などの身近な人に対し、介護や看護などの日常生活上のお世話をしていますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 現在している	14.7%	68
2 過去にしていた	28.8%	133
3 したことはない	55.6%	257
4 分からない	0.9%	4

(n = 462)



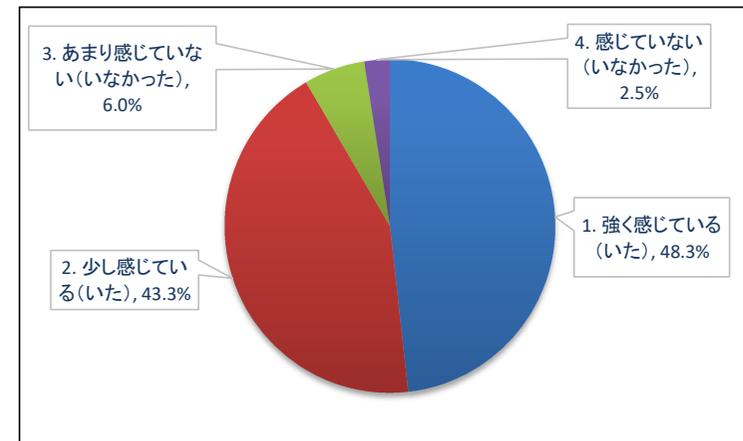
問3 (問2で選択肢1または選択肢2を選んだ方にお聞きます。)

お世話をしている(していたとき)、どの程度の負担や不安を感じましたか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 強く感じている (いた)	48.3%	97
2 少し感じている (いた)	43.3%	87
3 あまり感じていない (いなかった)	6.0%	12
4 感じていない (いなかった)	2.5%	5

(n = 201)



問4 (問3で選択肢1~3を選んだ方にお聞きます。)

負担や不安の内容を記入してください(例:仕事との両立が難しい、職場に理解が得られない など)

(自由記述)

【主な意見】

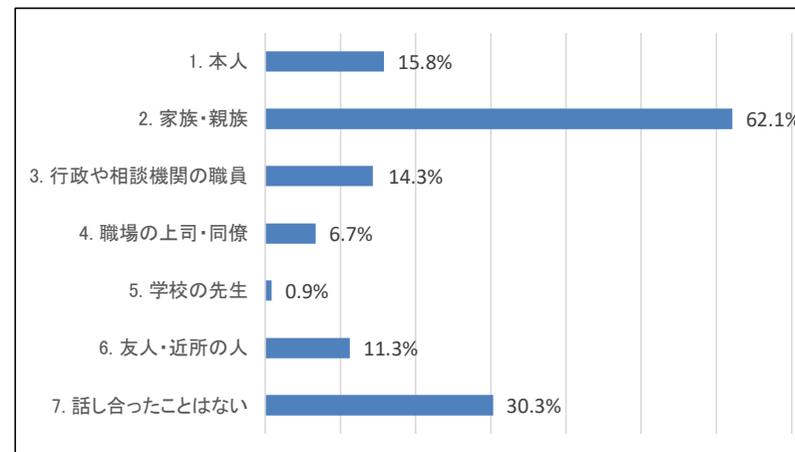
- ・ 費用面。在宅でかかる費用、施設入所にかかる費用。仕事は減らさざるを得なかったため、収入減も気にしながら行っていた。
- ・ 仕事のキャンセルが続き、自分の精神のバランスが崩れた。
- ・ 老老介護で介護者が体調不良になりそうだった。
- ・ 仕事、子育て、介護、看護と、重なった時期があり、頼れる存在がいなかった。
- ・ 忙しく余裕がない、技術や知識が乏しい、心の安定を取るのが難しい。

問5 あなたは、介護や看護などのお世話について、誰かと話し合ったことがありますか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 本人	15.8%	73
2 家族・親族	62.1%	287
3 行政や相談機関の職員	14.3%	66
4 職場の上司・同僚	6.7%	31
5 学校の先生	0.9%	4
6 友人・近所の人	11.3%	52
7 話し合ったことはない	30.3%	140

(n = 462)

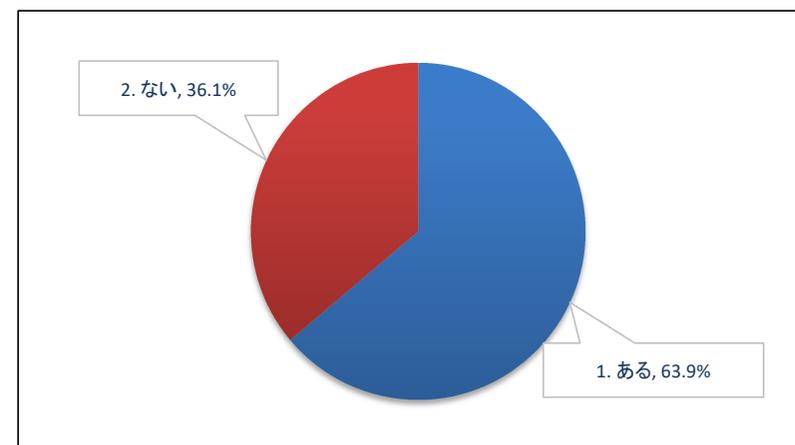


問6 あなたのまわりに、介護や看護などのお世話をしている人がいる(かもしれない)と思ったことがありますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 ある	63.9%	295
2 ない	36.1%	167

(n = 462)



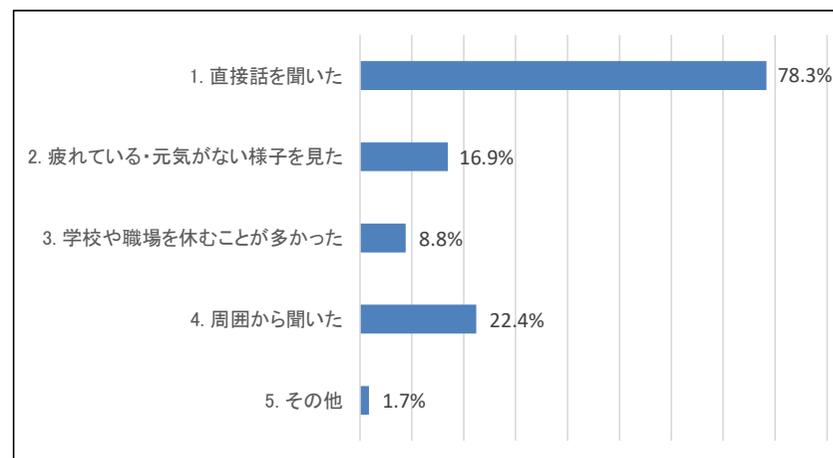
問7 (問6で選択肢1を選んだ方にお聞きします)

そう思った理由やきっかけを教えてください。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 直接話を聞いた	78.3%	231
2 疲れている・元気がない様子を見た	16.9%	50
3 学校や職場を休むことが多かった	8.8%	26
4 周囲から聞いた	22.4%	66
5 その他	1.7%	5

(n = 295)



【その他の主な意見】

- ・介護用品などの情報の共有。
- ・家族なので知っていた。
- ・周りにたくさんいる。障害児の集まりに来てる、兄弟児をみたら普段みてるのがわかる…。

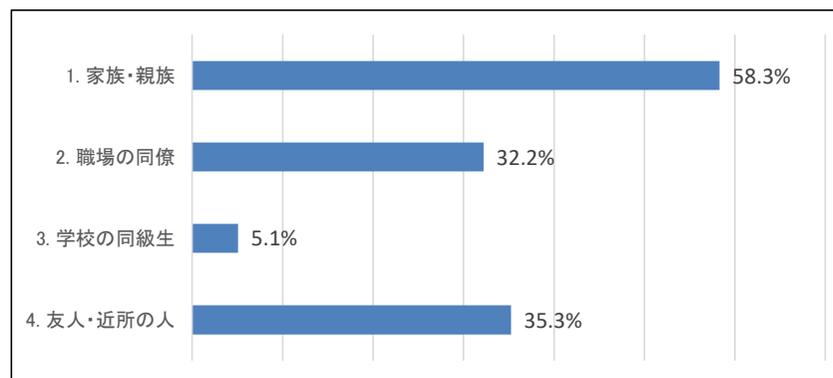
問8 (問6で選択肢1を選んだ方にお聞きします)

あなたのまわりのどのような方が介護や看護などのお世話をしている人がある(かもしれない)と思ったことがありますか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 家族・親族	58.3%	172
2 職場の同僚	32.2%	95
3 学校の同級生	5.1%	15
4 友人・近所の人	35.3%	104

(n = 295)

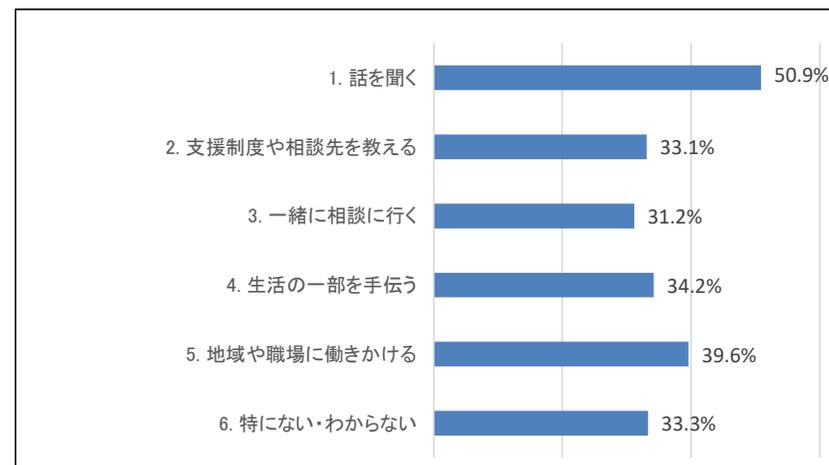


問9 あなたのまわりで介護や看護などのお世話をしている人がいた場合、あなたはどのような支援ができそうですか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 話を聞く	50.9%	235
2 支援制度や相談先を教える	33.1%	153
3 一緒に相談に行く	31.2%	144
4 生活の一部を手伝う	34.2%	158
5 地域や職場に働きかける	39.6%	183
6 特にない・わからない	33.3%	154

(n = 462)

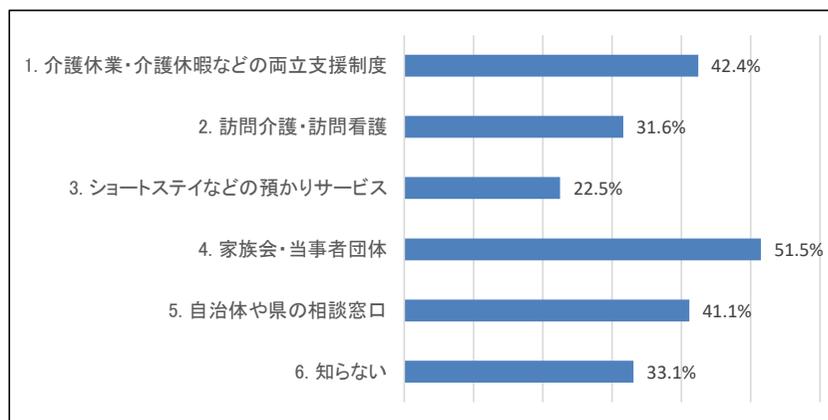


問10 介護や看護などのお世話に関する支援制度やサービスで、知っているものを教えてください。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 介護休業・介護休暇などの両立支援制度	42.4%	196
2 訪問介護・訪問看護	31.6%	146
3 ショートステイなどの預かりサービス	22.5%	104
4 家族会・当事者団体	51.5%	238
5 自治体や県の相談窓口	41.1%	190
6 知らない	33.1%	153

(n = 462)



問11 問10で挙げた支援制度やサービスを利用する上で、どのような課題があると思いますか。

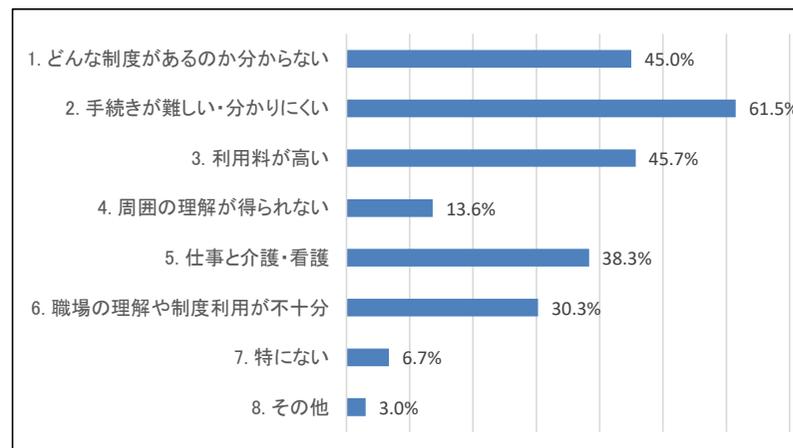
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 どんな制度があるのか分からない	45.0%	208
2 手続きが難しい・分かりにくい	61.5%	284
3 利用料が高い	45.7%	211
4 周囲の理解が得られない	13.6%	63
5 仕事と介護・看護	38.3%	177
6 職場の理解や制度利用が不十分	30.3%	140
7 特にない	6.7%	31
8 その他	3.0%	14

(n = 462)

【その他の主な意見】

- ・ 介護される本人が嫌がってしまうところがあること。
- ・ 同居しない肉親の理解。
- ・ 介護認定などの措置が出るまでに手続きに時間がかかり、手続きも複雑である。
- ・ 情報格差、地方格差があるためサービスを受けられなかったりムラがある。



問12 ケアラー支援の普及・啓発のために、どのような取組が必要だと思いますか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 学校教育での取組	49.8%	230
2 職場での研修や周知	60.4%	279
3 企業・団体向けの啓発活動	48.3%	223
4 メディア（テレビ・SNSなど）での情報発信	53.9%	249
5 地域講座やイベント	42.9%	198
6 県の特設サイトなどでの情報発信	35.5%	164
7 その他	3.5%	16

(n = 462)

【その他の主な意見】

- ・ ユマニチュードやモンテッソーリ式教育法、アサーションなど、介護や保育で使われているコミュニケーション方法をより広める必要があると思います。
- ・ プライバシーやプライドなどの問題と当事者が何をどうしたいのかを気楽に発言できる環境づくりが基本ですが、精神的に微妙な側面があるので、特に幼少期から日常環境として育む事が理想です。
- ・ 自分がケアをしていることを口に出して、言える雰囲気。

